



花園大学

先生のおすすめ図書

2021 APRIL v.10.0 新入生歓迎号

花園大学の先生が選んだ、皆さんにぜひ読んで欲しい本のリストです。
コメントを付けて図書館1階の「おすすめ図書コーナー」に配置してあります。
貸出することもできます。

花園大学情報センター（図書館）



『女に聞け』

宮尾節子 著

響文社 2019.10

仏教学科

中島志郎

<請求記号>

911.56/Mi 81

2014年、「明日戦争が始まる」という詩がネット上で話題になった女流詩人の最新詩集。この『女に聞け』も、去年一年、ジェンダー論議のなかで、いささか話題となった。私評ながら、彼女の描く女性像は、都会の颯爽とした女性像ではなく、決してスマートとはいえない、どこかローカルな情念をふつつと滾らせている。月並みだが、優しく、強く、恐ろしい三色で、寄りあわされた一本の強い縄(そう、金の鎖ではなく縄!)は、どこか土着の情念を秘めた、ことばのうねりとなって読むものを奔放に煽るのだ。それは声となり、文字を獲得した女性たちの秘めた矜持でもある。本を読まなくなった若者に、詩集なら…というのも詩に対して失礼な限りだが、短い詩の言葉がもつ喚起力は、ある意味、若者のほうが敏感かも知れない。意気軒昂、血気盛んな現役女流詩人は、SNSでも精力的に発信を続けている。そちらもぜひコンタクトして見てほしい。



『死んだらどうなるのか？』

死生観をめぐる6つの哲学』

伊佐敷隆弘著

亜紀書房 2019.10

仏教学科

松本直樹

<請求記号>

114.2/I 68

いろいろな文化や宗教の死生観(死と生についての考え方)を6つの形にまとめて紹介する第一部と、死についての論理的・哲学的な考察を自由にくり広げる第二部に分かれる。この二つの考察の方向をバランスよく一冊にまとめた本はめずらしい。後半の哲学的な考察も、レベルの高い内容がやさしい対話形式で書かれていて親しみやすい。



『いづれを聴く：牧会カウンセリング読本』

三永恭平著

日本基督教団出版局

1986.12

日本史学科

菅修一

<請求記号>

146.3/Mi 36

自分の専門外の本を僭越にも紹介し、失礼いたします。

本書は「いのちの電話」理事を務められたキリスト教会の牧師先生によるカウンセリングに関する著作です。カウンセラーでなくても、私たちは友人や家族の悩みに寄り添う機会があります。その際、多く語るのではなく、多く聴くことが大切だと著者はいわれます。傾聴と受容。そこから新しい一歩が踏み出されるかもしれません。



『日本語の乱れか変化か：これまでの日本語、これからの日本語』

金澤裕之、川端元子、森篤嗣編集

ひつじ書房 2021.2

日本文学科

橋本行洋

<請求記号>

810.4/Ka 48

ルールからの逸脱というとは一般にはネガティブに捉えられることが多い。しかし歴史や文化の実際の流れから見ると、それこそが新しい時代やトレンドを生み出す原動力となっていることも多い。本書では、日本語における過去や現在進行中の変化を多様な面から取り上げ、ことばの「乱れ」「正しさ」「変化」といったものを、動的な視点から見つめ直す試みがなされている。



『手塚治虫漫画全集』

手塚治虫著

講談社 1977-1997

日本文学科

秦美香子

<請求記号>

Q/Te 95/1~

Q/Te 95/400

めざせ全 400 巻読破！

小中高の図書室などで、『ブラック・ジャック』や『火の鳥』を手に取ったことがある方は多いでしょう。では、『七色いんこ』や『どろろ』は読んだことがありますか？ 短編の「落盤」は？

あなたの知らない名作が、まだまだたくさんあります！

この図書館の2階には、『手塚治虫漫画全集』全 400 巻があります。詳しい所蔵場所は、hops（花園大学 OPAC）で検索してみてください。

4 年間で全部読み終わろうと思ったら、毎年 100 冊ずつ読まないといけません。善は急げ！今すぐ2階に行って、まずは1冊、気になるタイトルの作品を借りてみましょう！



『翼がなくても』

中山七里著

双葉社 2017.1

社会福祉学科

福富昌城

<請求記号>

913.6/N 45

著者は『さよならドビュッシー』でデビューしたミステリ作家で、本学文学部国文学科卒です。

主人公は陸上 200m 走でオリンピックを目指している。しかし、事故で左足を切断（ちなみに、私の父親も片腕・片足を事故で切断しています）。物語の中心は2つ。1つは主人公の再生の物語。主人公が事故後、義足を使ったパラアスリートとしてパラリンピックを目指す障害受容や生き直しが語られる。そこでは、中途障害者の悩みや障害者スポーツの現実がリアルに語られていく。そしてもう一つの物語の中心は、主人公の足を事故で奪った犯人が幼なじみで、その犯人が自宅で殺される事件が発生。犯人は誰か、そしてなぜ？は、ミステリなので伏せておきましょう。

タイトルは「たとえ翼がなくても、きっと彼女は無理にでも飛び立とうとしただろう。時々そういう諦めの悪い人間を見かける」という、ある登場人物の言葉から取られている。諦めが悪いって、実は、大事なことです（^o^）/



『地域のかかり合い所また明日：新しい時代の共生のカタチ』

太田美由紀著

風鳴舎 2019.12

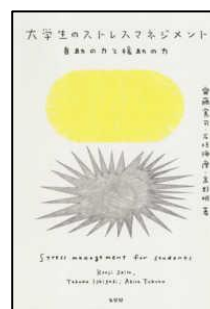
社会福祉学科

久保樹里

<請求記号>

369.7/O 81

小金井市にある「地域のかかり合い所 また明日」は、保育所、認知症高齢者のデイホーム、地域のかかり合い所の3つの機能を合せ持つ居場所。赤ちゃんから認知症のお年寄りまでがここに集うなかで自然に交流が始まり、お互いを理解していきます。地域包括支援の重要性が言われていますが、つながることで人は場が変わっていく実践がよくわかる一冊です。



『大学生のストレスマネジメント：自助の力と援助の力』

齋藤憲司，石垣琢磨，高野明著
有斐閣 2020.4

臨床心理学科

丹治光浩

<請求記号>

371.43/

Sa 25

私たちは、どうすればストレスとうまく付き合うことができるでしょうか。

本書は、大学生が充実した学生生活を送るために必要なストレスマネジメントの方法について書かれたものです。特に生活、学習、家庭、友人関係に関する記述は具体的で示唆にとんでいます。興味のある章だけ選んで読んでもかまいません。是非手に取ってみてください。



『コンビニ人間』

太田美由紀著

風鳴舎 2018.9

臨床心理学科

橋本和明

<請求記号>

文春文庫/
む-16-1

発達障害を有する女性の主人公を描いた作品です。その女性は長年コンビニに勤めているのであるが、そこで巻き起こるストーリーに、彼女らしさが現れており、人間的な意味でも素晴らしいと感じられました。発達障害のことを理解するにもとてもいい作品です。



『ケーキの切れない非行少年たち 1-2 巻』

鈴木マサカズ 画

宮口幸治 原作

新潮社 2020-2021

臨床心理学科

橋本和明

<請求記号>

Q368.71/Mi73/1

Q368.71/Mi73/2

「ケーキの切れない非行少年たち」(新潮社)が漫画化された作品で、

発達に課題のある非行少年の姿を実にうまく表現されているものです。書籍も馬鹿売れして、幾度もマスコミなどで取り上げられました。著者宮口幸治さんは精神科医で、これまで少年院でご勤務されていました。推薦者橋本和明の友人でもあり、数年前に花園大学心理カウンセリングセンター主催の講演会にもお越しくださいました。



『家守綺譚』

梨木香歩著

新潮社 2006.10

児童福祉学科

井上明美

<請求記号>

新潮文庫/な-
37-7

人は目に見える世界だけで生きているのではない。夢と現、あの世とこの世、その境目は曖昧として物語は進む。人に恋する百日紅、湖から疎水を通り抜け、帰り道を失う河童、生きる理を語る狸和尚。人以上に世界の何たるかを悟る犬。主人公は、ゆったりと流れる時間とともに、周りに存在する生き物や死者との交流を続ける。不思議な世界観に浸りながら、琵琶湖から疎水が流れ込む京都の幻想的な風景を堪能しつつ、心が生き返る物語。京都に長く暮らしている人も、これから京都で学び始めようとする人にもお勧めの本。



『82 年生まれ、キム・ジヨン』

チョ・ナムジュ著、斎藤真理子訳
筑摩書房 2018.12

児童福祉学科 笹谷絵里

<請求記号>

929.13/C 52

日本のオリンピック・パラリンピック大会組織委員会の会長が辞任した理由が、「女性蔑視」ととらえられる発言であったことは目新しい。では、多くの女性はこのような経験なく過ごしているのでしょうか。本書は、1982 年生まれの女性「キム・ジヨン」の人生に焦点をあて、「ふつうの女性」が体験する差別や抑圧を書き出している。私たちの当たり前は本当に当たり前なのか、それらを当たり前を受け入れないことを本書は訴えている。



『その情報はどこから？ ネット時代の情報選別力』

猪谷千香著
筑摩書房 2019.2

児童福祉学科 千田真喜子

<請求記号>

ちくまプリマー
新書/320

インターネットは便利ですね。しかしながら、私たちはいつの間にかインターネットと毎日繋がっていて、知らず知らずのうちに行動や考えがインターネットに影響されているかもしれません。たくさん流れてくる情報に惑わされないために、大切なこととは何かについて書かれています。ぜひ、一度読まれてはいかがでしょうか。



『本へのとびら：岩波少年文庫を語る』

宮崎駿著
岩波書店 2011.10

児童福祉学科 中妻雅彦

<請求記号>

岩波新書/1332

「生まれてきてよかったんだ、子どもにエールを送るのが児童文学」（宮崎駿）と言っていますが、大人になって読み直してもいいし、これから新たに読んでもいいのが、児童文学です。『シャーロック・ホームズの冒険』『長い冬』『不思議の国のアリス』『ハイジ』は、本の方が、映画やアニメよりはるかにいいです。『ファールブルの昆虫記』『海底二万里』は、うんうんとうなり、わくわくします。『日本霊異記』『ネギを植えた人』『聊斎志異』には、不思議で納得するお話がたくさん載っています。そんな本の紹介です。



『「弱いロボット」の思考：わたし・身体・コミュニケーション』

岡田美智男著
講談社 2017.6

児童福祉学科 山口真希

<請求記号>

講談社現代新書
/2433

話しかけるだけで好みの音楽をかけ、電気を消し、夕食の材料を注文してくれる、外出先で洗濯機を回すことさえ…ロボットが生活を全面サポートしてくれる時代、私たちはつい「もっと賢く、もっと完璧な」便利や快適さを手にしようとしてしまいます。ところが本書に登場するのは、自分ではごみを拾えないゴミ箱ロボット、たどたどしい話し方をするロボットなど、どれも頼りなく弱々しいものばかり。一見、生産的ではないロボットたちがもつ魅力、周りを巻き込む力、環境との相互作用で生み出す価値…読めば、「弱い」ことの意味を考えさせられます。福祉や教育など人と向き合う職業を目指す人にもおススメの一冊です。



『日本語を翻訳するということ：失われるもの、残るもの』

牧野成一著
中央公論新社 2018.6

教養教育課程 有吉淳一郎

<請求記号>

中公新書/2493

日本語を英訳する際、単に単語を置き換えればよい、というわけにはいきません。「古池や蛙^{かわず}飛び込む水の音」を英訳する場合、「蛙」は a frog なのか frogs なのか。その選択に迫られます。このことは同時に、日本語で意図されていたのとは異なるイメージを読み手に与えてしまう恐れも生じさせます。そもそも芭蕉は、1匹または2匹以上、どちらをイメージしていたのでしょうか。みなさんだったら、単数形・複数形のどちらで英訳しますか。それはどのような理由によるのでしょうか。

日本語と英語の違いだけではなく、ふだん十分に慣れ親しんでいるつもりである日本語についても、新たな発見が満載です。ぜひご一読を。



『破壊：人間性の解剖』上・下

エーリッヒ・フロム著

作田啓一，佐野哲郎訳

紀伊国屋書店 1975

教養教育課程 衣川賢次

< 請求記号 >

145.9/F 48/1

昨年の朝日新聞にポーランド
のアウシュビッツ強制収容所で

145.9/F 48/2

日本人ガイドを 20 年にわたって

務める日本人の紹介があり、「差別は競争心の裏返しであって、人間の本性です。歴史から学び、闇の部分を広げすぎないようにブレーキをかけるしかない」とその人は語ったという（2020 年 9 月 19 日付関西版）。

わたしはこの認識は誤っていると思った。差別が人間の「本性」だと言うなら、なんびとも差別、虐殺という負の行為は避けられぬことになるではないか。わたしは学生時代に読んだフロムの本を思い出した。かれは心理学者であるが、当時の動物行動学が打ち出した本能主義の刺激—反応、衝動—破壊モデルをそのまま人間の攻撃現象にあてはめた言説に反論するために、専門外ながら、神経生理学、動物心理学、古生物学、人類学の学説を渉猟し、さらに近現代史のヒトラーのナチズム、ソ連のスターリン主義を研究して、悪性の破壊衝動が人間の本能（本性）ではなく、歴史的環境に起因し形成された性格によるものだということを証明しようとした。これがかれの学者としての良心にもとづいてなされた総合的な研究であることに、わたしは深い感銘を受けた。研究は総合的であるべきであり、人間の希望を託するものでありたいと思ったのであった。